

かがやき

かけがえのない実り多い一年に

学校長 岩下 清彦

春らしく穏やかな気候に心穏やかな季節となりました。令和5年度、2023年度が始まりました。今年度も、フランクフルト日本人国際学校の子どもたちのために「授業づくり」「生活づくり」「人・組織づくり」を学校経営の柱とし、確かな学力の定着、ドイツでの生活を生かしたグローバル化に対応できる教育の充実に、教職員とともに全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新たな出会いに胸躍る春。今年度は小学部28名、中学部19名の新生と各学年の編入生20名を迎え、今年度の児童生徒数は212名、14学級でスタートしました。また、教職員も新たに政府派遣教員5名が着任し、35名となりました。今年度も本校では、多くの人との関わりを深め、様々な学びや体験を通して日々の学校生活を充実させてまいります。また、ドイツならではの教育を実践するとともに、子どもたちが楽しく安心して通える学校となるよう努力していきたいと考えています。

今年度は、これまで本校が営々と築いてきた教育指針と伝統を尊重しつつ、「不易と流行」の観点から、日本国内で求められている学力向上及び現地理解・国際理解教育を中心とする、より質の高い教育活動を創造する1年としたいと考えています。

昨年度に引き続き、学力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育という視点をもって、義務教育9か年を見通した系統性、継続性のある教育活動を推進していきます。これは、現在の教育を取り巻く状況への対応や小中学生が同じ校舎で学んでいる本校の特性を最大限に生かすという視点からの取組です。小学部における教科担任制や小中学部の乗り入れ授業を充実させることにより、小学校高学年での専門的な指導の充実や、児童生徒のつまずきやすい学習内容についての長期的な視点に立ったきめ細かな指導などの学習指導の工夫を図ることができます。また、多様な教職員が指導にあたることによる興味・関心や個性伸長への対応につなげることもできます。さらには、多様な異学年交流の活発化、より多くの多様な教職員の児童生徒への関わりなどにより、思いやりやコミュニケーション力、リーダーシップ等の社会性の育成を図っていこうと考えています。

この一年が子どもたちにとって、かけがえのない実り多い年になるよう、また、未来への大きな夢をはぐくむ確かな一歩となるように、今年度も学校教育目標「一生懸命学習しよう」「異なったものを認めよう」「豊かな心と感謝の気持ちを育てよう」「たくましい身体と心を作ろう」を目指し、本校教職員一丸となって教育活動を展開するとともに、学校と家庭が強く手を携えて教育活動を進めていきたいと考えています。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年4月12日 発行
フランクフルト日本人国際学校
HP : <http://www.jisf.de>
E-mail : info@jisf.de
広報係第1号

4月: 卯月(うづき): APRIL

- 12 (水) 着任式・始業式
- 13 (木) 入学式
- 14 (金) 短縮午前授業(～18日)
(幼稚部入園式)
- 17 (月) 学力テスト週間
身体測定(～19日)
- 19 (水) 全校朝会
- 20 (木) 小: 1年生を迎える会
- 21 (金) 前期児童生徒会役員選挙
- 22 (土) 補習校入学式
- 24 (月) 小学部学年懇談会(～28日)
- 25 (火) 前期委員会
- 26 (水) 職員会議
- 27 (木) 授業参観 全体保護者会
中: 学部保護者会・学級懇談会



5月: 皐月(さつき): MAI

- 1 (月) Tag der Arbeit(メーデー)
- 3 (水) 全校朝会
- 4 (木) 部活動
- 5 (金) 前期委員会
小3・4: 春の遠足
- 8 (月) 部活動
- 10 (水) 避難訓練
- 11 (木) 部活動 小6: 現地校交流
- 12 (金) 児童生徒総会 小2: 春の遠足
- 15 (月) 部活動
- 17 (水) 児童生徒朝会 小1: 春の遠足
- 18 (木) 昇天祭
- 19 (金) 移動可休日
- 23 (火) 中: 1学期中間テスト
- 24 (水) 中: 1学期中間テスト・ニッダウォーク
小5: 宿泊学習説明会
- 25 (木) 部活動
- 26 (金) 前期委員会
- 29 (月) 聖霊降臨祭
- 30 (火) 中: 第1回進路説明会
- 31 (水) 職員会議

